

(注意)

- 1 休職教員、雪中派出場教員、出産休養中若ハ講習中臨時任用教員等ハ除外ノコト
- 2 學級擔任外教員數中他ヨリ兼務スルモノアルトキハ其ノ旨備考欄ニ記載スルコト

(第三表)

教員俸給調

年度	區分		年總額	月總額	備考
	本年度	現在支給額			
翌年度	見込				

(注意)

- 1 備考欄ニハ豫算書教員俸給ノ附記事項ヲ轉載スルコト
- 2 現在支給月總額欄ハ毎年二月分支給額ヲ記載スルコト
- 3 休職教員給、雪中派出場教員給、出産休養中若ハ講習中臨時任用教員給等ヲ含マシメタル時ハ其旨並金額ヲ備考欄ニ記載スルコト

(第四表)

正教員充實歩合調

性別	區分	本		其		他	學級數ニ對スル 本正充實歩合	備考
		高正	尋正	專正	准代用			
男	教員							
女	教員							

(注意)

- 1 休職教員、雪中派出場教員、出産休養中若ハ講習中臨時任用教員等ハ除外ノコト
- 2 充實歩合ハ本正教員數ヲ學級數ニテ除シタル商(小數第二位迄)ヲ記載スルコト
- 3 備考欄ニハ充實歩合、男女教員數ノ比率等ニ對スル學校長ノ意見ヲ記載スルコト

(第五表)

教員異動調

氏名(女男)	職名	資格	俸給	同上支給年月日	本籍地	現住所	勤續在職年月數	呼年	異動希望及理由	異動及補充ニ對スル學校長ノ意見

(注意)

- 1 全職員ヲ列記スルコト
- 2 休職教員、雪中派出場教員、出産休養中若ハ講習中臨時任用教員及他ヨリ兼務セル教員ハ末尾ニ列記シ他ノ教員ト明瞭ニ區別スルコト
- 3 異動ニ依リ特殊ノ事情ヲ生スルモノハ其ノ旨記載スルコト

◎永年在職教員調査報告(昭七・縣際學六九七三)

貴校内職員ニシテ左記在職年數ニ達スル者有之候ハ其都度別紙様式ニ依ル詳細ナル履歷書添附報告相成

度此段及通課候也

追テ大正十五年八月二十日學第八三七一號通課ハ自然廢止相成タルモノニツキ申添候

記

甲 現在判任官待遇ノ者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者

(一) 判任官待遇トシテ左ノ期間在職シ未タ敘勅セラレサル者

1 現在判任官四等待遇(月俸五十圓未満)ノ者ハ滿三十年以上

2 同 三等待遇(月俸五十圓以上七十圓未満)ノ者ハ滿二十八年半以上

3 同 二等待遇(同 七十圓以上百圓未満)ノ者ハ滿二十七年以上

4 同 一等待遇(同 百圓以上)ノ者ハ滿二十五年半以上

(二) 勳八等ニ敘セラレテヨリ判任官待遇トシテ左ノ期間在職セル者

1 現在判任官四等待遇ノ者ハ滿十三年半以上

2 同 三等待遇ノ者ハ滿十二年以上

3 同 二等待遇ノ者ハ滿十年半以上

4 同 一等待遇ノ者ハ滿九年以上

(三) 現在判任官一等待遇ノ者ニシテ勳七等ニ敘セラレテヨリ判任官待遇トシテ滿十五年以上在職セル者

乙 現在奏任官待遇ノ者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者

(一) 未タ敘勅セラレサル者

甲(一)ニ同シ

(二) 勳八等ニ敘セラレテヨリ奏任官待遇トシテ滿一年十ヶ月以上在職スル者

(三) 勳七等ニ敘セラレテヨリ奏任官待遇トシテ滿三年以上在職スル者

備考

一 在職年數計算ニツキ左ノ事項注意ノコト

1 甲ニ依ル場合

判任官トシテノ在職年數ハ其ノ在職年月ニ更ニ其ノ在職年月ノ二分ノ一ヲ加フ奏任官待遇トシテノ在職年月ハ増減セスシテ通算スルコト

2 乙ニ依ル場合

判任官トシテノ在職年數ハ三分ノ二トシ判任官待遇トシテノ在職年數ハ二分ノ一トシテ通算スルコト

3 在職年月數ハ日數ニ依ラス月ノ十五日ノ前後ニ依リ半ヶ月ヲ單位トス即チ

イ 十五日以前ノ任命ナレハ一ヶ月

ロ 十六日以後ノ任命ナレハ半ヶ月

ハ 十五日以前ノ退官、退職ナレハ半ヶ月

ニ 十六日以後ノ退官、退職ナレハ一ヶ月

4 異ニ敘勅セラレタル月ヲ計算スル場合ニハ其ノ敘勅日附ノ如何ニ拘ラス一ヶ月トシテ計算スルコト

二 履歷書ニ付キ左ノ事項注意ノコト

1 本籍及現住地ノ番地生年月日舊姓名等ハ明記ノコト

2 免官、退職等ノ事由ヲ記スルコト

3 減俸以上ノ懲戒處分ヲ受ケタル者ハ處分書ノ全文ヲ明記スルコト

4 履歷書中校名改稱或傳給令改正等ハ朱記スルコト

5 從軍記章大勳章等ノ記章授與ノ者ハ記入スルコト

6 現在ノ位階、勳等、功級ハ必ス之ヲ記載スルコト

7 現在勳等アル者ハ其ノ勳記番號ヲ記載スルコト

(瑞寶章ハ瑞、旭日章ハ旭ノ字ヲ番號上ニ冠スルコト)

(様式並記載例 初叙ノ場合)

履 歷 書

小學校 第十一章 統計報告

同 年	同 年	同 年	同 年	昭 和 年	同 九 年	同 年	同 年	同 年
月 日	八 月 一 日	七 月 一 日	十 一 月 十 六 日	月 日	八 月 一 日	月 日	月 日	月 日
	新 潟 縣 訓 令 第 十 二 號 = 依 り 新 潟 縣 公 立 小 學 校 訓 導 兼 新 潟 縣 公 立 小 學 校 長 = 任 セ ラ レ 現 在 勤 學 校 訓 導 兼 校 長 = 補 セ ラ ル (朱 書)	俸 給 令 改 正 月 俸 何 圓 (朱 書)	大 禮 記 念 章 授 與	何 級 俸 當 分 何 圓 給 與	俸 給 令 改 正 何 級 俸 當 分 何 圓 (朱 書)	高 等 科 併 置 廢 止 (朱 書)	何 級 俸 給 與	
判 任 官 何 等 待 遇								合 計 何 年 何 月 何 日

(進級ノ場合)

履 歷 書

新 潟 縣 公 立 小 學 校 訓 導 兼 新 潟 縣 公 立 小 學 校 長 位 勤 何

年 月 日 生 某

瑞 第 何 號

族 籍 新 潟 縣 土 族
本 籍 新 潟 縣 何 郡 何 村 大 字 何 番 地
現 住 所 新 潟 縣 何 郡 何 村 大 字 何 番 地

年 號	昭 和 年	同 三 年	同 年	同 年	同 六 年	同 年	同 年	同 年	同 七 年	同 年	同 年
月 日	十 一 月 十 六 日	七 月 一 日	十 二 月 十 八 日	月 日	七 月 一 日	十 二 月 十 八 日	月 日	八 月 一 日	八 月 一 日	八 月 一 日	八 月 一 日
任 免 賞 罰 等	新 潟 縣 何 郡 何 村 何 尋 常 高 等 小 學 校 訓 導 兼 校 長	大 禮 記 念 章 授 與	何 級 俸 給 與	俸 給 令 改 正 月 俸 何 圓 (朱 書)	奏 任 官 ヲ 以 テ 待 遇 セ ラ ル	敍 從 七 位	新 潟 縣 訓 令 第 十 二 號 = 依 り 新 潟 縣 公 立 小 學 校 訓 導 兼 新 潟 縣 公 立 小 學 校 長 = 任 セ ラ レ 現 在 勤 學 校 訓 導 兼 校 長 = 補 セ ラ ル (朱 書)	高 等 官 七 等 ヲ 以 テ 待 遇 セ ラ ル			
資 格	判 任 待 遇				奏 任 待 遇						高 等 官 七 等 待 遇
在 職 年 數	何 年 何 月 何 日	何 年 何 月 何 日	何 年 何 月 何 日	何 年 何 月 何 日	何 年 何 月 何 日	何 年 何 月 何 日	何 年 何 月 何 日	何 年 何 月 何 日	何 年 何 月 何 日	何 年 何 月 何 日	合 計 一 年 十 月 十 日 以 上

第十二章 其他

◎ 神社大被執行ニ關スル件 (昭六・縣課社兵六三五九)

小學校 第十二章 其他

六月三十一日及十二月三十一日ハ各神社ニ於テ恒例ニ依リ大祓執行相成居候處大祓ハ天下萬民ノ罪穢ヲ祓除セムカ爲ニ行ハル、儀式ニシテ我國民ノ常ニ清淨潔白ヲ好ミ質實剛健清廉ヲ尙ヒ公明正大ヲ愛スル道義心ノ強キハ古來カ、ル良風ニ依リテ維持セラレタルモノニシテ寔ニ國民性ニ合致セル良習ニ之有候就キテハ此ノ際廣ク此ノ趣旨ノ徹底ヲ期シ大祓ニハ貴職參列可相成ハ勿論市町村民ヲシテ多數參列セシムル様御取計相成度尙學校長ハ可成生徒兒童代表者ヲ引率參列相成度依命及通牒候也

追テ大祓執行時刻ハ直接神社ニ就キ御承知相成度

◎(小學校ニ於テ休業スヘキ)産土神例祭日ニ參拜方 (明四〇・縣訓五)

小學校ニ於テ休業スヘキ産土神例祭日ニハ小學校長及教員ハ兒童ヲ率キテ參拜スヘシ

◎市町村立小學校兒童修學旅行規程 (昭二・縣訓二二)

- 第一條 市町村立小學校ニ於テ兒童ノ修學旅行ヲ爲サムトスルトキハ本規定ニ據ルヘシ
- 第二條 修學旅行ヲ爲サムトスルトキハ學校長ニ於テ實施十日前ニ左ノ事項ヲ具シ知事(市ニ在リテハ市長、支廳長管轄區域ニ在リテハ支廳長)ニ届出ツヘシ 但シ第三條第五號、第六號及第十二號ニ據リ難キトキハ其ノ事由ヲ具シ知事(市ニ在リテハ市長、支廳長管轄區域ニ在リテハ支廳長)ノ認可ヲ受クヘシ
- 一 旅行日時、行程、宿泊地
 - 二 見學箇所及見學ノ要點
 - 三 旅行兒童ノ學年別、男女別、員數
 - 四 不参加兒童ノ學年別、男女別、員數不参加事由及其ノ處置
 - 五 引率教員職氏名、附添人男女別、員數
 - 六 兒童一人當經費並經費ノ出途及支出細目

七 其ノ他旅行ニ必要ナル事項

第三條 修學旅行ヲ行フニ當リテハ左ノ各號ヲ遵守シ遺憾ナキヲ期スベシ

- 一 修學旅行ハ兒童ノ發達程度ニ適應シタル計畫ヲ爲スコト
- 二 見學セシムヘキ教材ハ豫メ精細ナル調査ヲ遂ケ之ニ依リ充分ナル指導ヲ爲スコト
- 三 尋常小學校第一、二學年兒童ニ在リテハ成ルベク汽車旅行ヲ爲サシメサルコト
- 四 尋常小學校第四學年以下ノ兒童ニ在リテハ宿泊旅行ヲ爲サシメサルコト
- 五 宿泊旅行ヲ爲サムトスル場合ハ尋常小學校第五、六學年兒童ニ在リテハ一泊、高等小學校兒童ニ在リテハ二泊以内タルコト 但シ交通不便ノ地ノ尋常小學校ニ於テ在學中一回ノ宿泊旅行ヲ爲サムトスル場合ハ二泊スルトコトヲ得
- 六 參加兒童數ハ當該學年兒童數ノ十分ノ八以上タルコト
- 七 女兒ヲシテ宿泊旅行ヲ爲サシムル場合ハ成ルベク其ノ引率教員中ニ女教員ヲ加フルコト
- 八 經費ヲ要スル旅行ニ在リテハ豫メ管理者ト協議ヲ爲スコト
- 九 尋常小學校兒童修學旅行ノ費用ハ公費又ハ學校後援會、兒童保護者會等ノ積立金等ヲ以テ兒童各人ノ負擔ノ輕減ヲ計ルコト
- 十 旅行中心得ヘキ事項ニ就テハ豫メ詳細ニ指示シ尙旅行中ハ周到ナル注意ヲ怠ラス保護上遺憾ナキヲ期スルコト
- 十一 旅行前兒童ノ健康調査ヲ行ヒ旅行中ハ兒童ノ心身疲勞ニ注意シ衛生上遺憾ナキヲ期スルコト
- 十二 兒童一人當ノ經費ハ尋常小學校ニ在リテハ壹圓五拾錢、高等小學校ニ在リテハ貳圓ヲ超エサルコト 但シ尋常小學校又ハ高等小學校在學中宿泊旅行各一回ノ場合ハ尋常小學校ニ在リテハ貳圓五拾

錢、高等小學校ニ在リテハ參與ヲ超エサルコト

第四條 修學旅行中事故ヲ生シタルトキ又ハ特別ノ事情ノ爲日程等ヲ變更シタルトキハ直ニ知事(市ニ在リテハ市長、支廳管轄區域ニ在リテハ支廳長)ニ報告スヘシ

●修學旅行ニ關スル件 (昭三・縣注)

- 1 修學旅行ノ本旨ヲ體シ計畫スヘキコト
 - 2 宿泊旅行實施ニ當リテハ小學校ニ在リテハ十日以前補習學校ニ在リテハ十四日以前ニ必ス認可ヲ受クルコト
 - 3 經費支出ノ方法ヲ適當ニスルコト
 - 4 参加及不参加兒童生徒數ハ各學年別ニ記號スルコト
 - 5 参加兒童生徒數ハ必ス規程以上タルヘキコト
 - 6 認可申請書ト届出書トヲ混同セサルコト
 - 7 數校連合シテ旅行スル場合ト雖認可申請ハ各學校毎ニ提出スヘキコト
 - 8 女兒童生徒ノ引率者ニ注意スルコト
- ◎運動競技會生徒兒童参加ニ關スル件 (昭六・縣牒學三二一三)
- 一 選手資格
- 1 操行善良ナル者ナルコト
 - 2 學業成績可良ナル者ナルコト
 - 3 身體ノ健康ニ關シ校醫ノ證明アリタル者ナルコト
 - 4 保護者ノ承認アリタル者タルコト
 - 5 引續キ滿一ヶ年以上同一學校ニ在學シタル者タルコト

- 6 前學年ニ於テ原級留置生ニアラサル者タルコト
- 7 個人タルト學校ノ代表タルトヲ問ハス競技會参加ニ關シ學校長ノ承認アリタル者タルコト

二 競技参加ニ關スルコト

- 1 参加ノ場合ハ成ルヘク長期休業中其他學業ニ支障ナキ時期ニ於テ主催スルモノタルコト
- 2 参加回数ハ各運動部毎ニ及各個人毎ニ付一年ヲ通シテ男子四回女子三回以内トス 但シ小學校ニ在リテハ三回以内トス尙縣外出場ニ際シテハ豫メ縣ノ認可ヲ經ルヲ要ス
- 3 毎年三月末日限左表ニ依ル報告ヲ爲スコト

競技部	名稱 豫算		支出ノ狀況		試合出場回数		學業成績			出缺狀況	
	選手費	其ノ他	縣内	縣外	選手名	平均點	席次	時缺	席數	理由	狀況

備考

- イ 名稱ノ欄ニハ運動各部名稱ヲ記入ノコト
- ロ 豫算ノ欄ニハ運動各部毎ニ豫算ヲ記入ノコト
- ハ 支出ノ狀況ノ欄中選手費トアルハ例ヘハ選手遠征費ノ如ク選手ノ爲支出シタル額ヲ言フ
- ニ 試合出場回数ニハ縣内、縣外何回ト明記ノコト
- ホ 學業成績ノ欄中席次ハ何人中何番ト明記ノコト
- 平均點ハ小數點以下一位マテトス(四捨五入ノコト)
- ヘ 出缺ノ狀況ノ欄ニハ缺席何時間何日缺席理由明記ノコト
- ト 各運動部毎ニ別紙ニ記載ノコト

三 其他ニ關スル件

- 1 校友會主催又ハ運動部後援等ノ名義ヲ以テ音樂會、映寫會等ニ付生徒ヲシテ入場券ヲ賣ラシメサル

2 校友會費以外ニ應授費ヲ生徒ヨリ徵集セサルコト

◎學校教員學生生徒鐵道旅客運賃割引證ニ關スル件 (昭二・縣牒二九五六)
旅行ヲ爲ス旅客ハ住所、氏名及年月日ヲ記載シタル當該學校長發行ニ係ル左ノ様式ノ身分證明書ヲ携帯シ
係員ノ請求アルトキハ何時ニテモ之ヲ呈示スベキモノトス

身分證明書

現住所

氏

名

生年月日

表

右本校(職名又ハ何部學生何學年生徒)タルコトヲ證明ス

昭和 年 月 日

何學校長 氏

名

職印

一 二 種

七、五 種

裏

- 一 本證明書ハ他人ニ貸與シ又ハ讓渡スベカラズ
- 二 本證明書ハ乗車船中必ズ携帯スベキモノトス
- 三 本證明書ハ鐵道係員ノ請求アリタルトキハ何時ニテモ之ヲ呈示スベキモノトス
- 四 本證明書ヲ紛失シタルトキハ直ニ學校長ニ届出ヅベキモノトス
- 五 新ニ證明書ノ交付ヲ受ケタル場合又ハ職員ニシテ其ノ職ヲ退キ學生又ハ生徒ニシテ進級シ若ハ卒業、退學等ニ依リ學籍ヲ離レタルトキハ直ニ本證明書ヲ學校ニ返付スベキモノトス
- 六 本證明書ノ有効期間ハ發行ノ日ヨリ一箇年トス

●新卒業生ノ短期現役服役者ニ關スル件 (昭九・縣注)

- 1 卒業後直ニ短期現役兵トシテ服役スル者ハ辭令受領ト共ニ學校長宛辭令受領ノ旨何聯隊(何艦)ニ服役ノ旨通知スルコト
- 2 短期現役兵ヨリ在隊(在艦)ノ通知ヲ受ケタル時ハ市町村長ヨリ直ニ(四月十一日現在ニテ四月十五日限)俸給國庫負擔ノ手續ヲ執リ尙異動(兵役免除、死亡等)ノ生シタル時ハ之カ報告ヲ怠ラサル様市町村當局ト連絡ヲ密ニスルコト
- 3 在職中ノ者ニシテ短期現役兵トシテ服役スル者カ轉任ヲ命セラレタル場合ハ前任學校長ヨリ本人及新任學校長ニ其ノ旨通知スルコト

●海軍志願者ニ學業成績證明書交付ノ件 (昭五・縣牒學三四)

小學校 第十二章 其他

小學校 第十二章 其他
(様式)

本籍地
寄留地

氏名

年	月	日	科目		讀方	國語	算術	總評	操行
			尋常	高等					
同	二年								
同	六年								
同	一年								
同	二年								

學校長印

- 備考
- 一 學業成績證明ハ尋常小學校五年以上高等小學校(中等學校)二年迄ノ分トス
 - 二 成績證明ハ甲乙丙丁等ヲ用フ
 - 三 用紙ハ可成美濃半切ヲ用ヒラレタシ

◎圖書館補助規程 (大一一・縣令二〇)

第一條 圖書館事業ノ普及發達ヲ期成セムカ爲明治三十二年勅令第四百二十九號圖書館令及明治四十三年文部省令第十八號圖書館令施行規則ニ基キ設置シタル公私立圖書館第二條ニ該當スルモノニ對シ本規程ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス

第二條 補助金ヲ交付スヘキ圖書館ハ左ノ各號ニ該當スルモノナルコトヲ要ス

- 一 大正十年八月本縣訓令第三十一號ニ依リ設置シタルモノナルコト
- 二 一ケ年圖書費百圓以上支出スルモノナルコト
- 三 施設宜シキヲ得ルコト

第三條 本規程ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケムトスルモノハ左記事項ヲ具シ毎年九月末日限り郡市長ヲ經由シテ知事ニ申請スヘシ

- 一 名稱及位置
 - 二 設立者ノ住所氏名
 - 三 創立年月日
 - 四 當該年度經費豫算
 - 五 施設及利用ノ狀況
 - 六 其ノ他參考トナルヘキ事項
- 第四條 一圖書館ニ對シテ交付スヘキ補助金額ハ一ケ年度五十圓以内トス
- 第五條 一圖書館ニ對スル補助金ノ交付ハ創立後三回以内トス
- 第六條 特別ノ場合ハ前二條ノ制限ニ拘ラス補助金ノ交付ヲナスコトアルヘシ
- 第七條 補助金ノ交付ヲ受ケタル圖書館ハ其ノ會計年度二ヶ月以内ニ郡市長ヲ經由シテ當該年度決算書並購入圖書目錄ヲ知事ニ報告スヘシ

附 則

第八條 本規程ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

小學校 第十二章 其他

第二編 實業補習學校

第一章 總則

實令一條 實業學校ハ實業ニ從事スル者ニ須要ナル智識技能ヲ授クルヲ以テ目的トシ兼テ徳性ノ涵養ニカムヘキモノトス

實規一條 實業補習學校ハ小學校ノ教科ヲ卒ヘ職業ニ從事スル者ニ對シ職業ニ關スル知識技能ヲ授クルト共ニ國民生活ニ須要ナル教育ヲ爲スヲ以テ本旨トス

實要第一 實業補習學校ノ名稱ニハ其ノ實業科目名ヲ用ヒ女子ノミヲ收容セル實業補習學校ノ名稱ニハ女子ノ文字ヲ冠スヘシ

◎充用實業補習學校名ニ關スル件 (昭八・縣注)

青年訓練所充用實業補習學校ハ大正十五年五月二十八日縣令第三二號

青年訓練所實施細則第三條ニ依リ左記名稱ヲ用フルコトトナリ居レリ注意セラレタシ

新潟縣何那町村青年訓練所充用何々實業補習學校

第二章 設置

設置

實業補習學校 第一章 總則 第二章 設置

實業補習學校 第三章 編制及教科

縣規一、二條 實規一五、一六條

廢止

縣規四條

學則

實規一九條

第三章 編制及教科

編制

實規二〇條 道府縣立ニアラサル實業補習學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度並教授時數ニ關スル事項ハ
地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

實規二、一〇、一一、一二、一三條

實要第三 (商工補習學校、農業補習學校、女子實業補習學校)

修業年限

實要第四 (商工補習學校、農業補習學校、女子實業補習學校)

教科

實規五條 實業補習學校ノ學科目ハ前期ニ在リテハ修身、國語、數學、理科及職業ニ關スル學科目トシ後期ニ在
リテハ修身、國語、數學及職業ニ關スル學科目トス 但シ前期ノ理科、後期ノ國語又ハ數學ハ之ヲ缺クコト

ヲ得

女子ニ課スヘキ學科目ハ前期ニ在リテハ修身、國語、數學、家事、裁縫及職業ニ關スル學科目トシ後期ニ在
リテハ修身、國語、家事、裁縫及職業ニ關スル學科目トス 但シ前期ノ家事又ハ裁縫、後期ノ國語、家事、
裁縫中二學科目以內ハ之ヲ缺クコトヲ得

前二項ノ學科目ノ外必要ニ應シ歴史、地理、體操、法制、經濟、簿記、外國語其ノ他ノ學科目中ヨリ適宜選
擇シテ之ヲ加設スルコトヲ得

實規六條 一學科目又ハ其ノ一部ヲ他ノ學科目又ハ其ノ一部ニ併セ之ヲ一學科目ト爲スコトヲ得

實規七條 加設學科目及後期ノ職業ニ關スル學科目中或事項ハ生徒ノ志望ニ依リ之ヲ缺キ又ハ選擇履修セシムル
コトヲ得

一學科目又ハ數學科目ニ付或學年ノ課程ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力アリト認メタルモノニ對シテハ當
該學年ニ於テ之ヲ課セサルコトヲ得

實規八條 實業補習學校ニ於テハ適當ナル學科目ニ於テ法制上ノ知識其ノ他國民公民トシテ心得ヘキ事項ヲ授ケ
又經濟觀念ノ養成ニカムルヲ要ス

職業ニ關スル學科目ニ於テハ前期ニ在リテハ工業、農業、商業又ハ水産等ニ關シ主トシテ基礎的知識技能ヲ
授ケ後期ニ在リテハ職業ノ種類ニ應シ適切ナル事項ヲ授クルヲ要ス

實規一四條 實業補習學校ニ於テハ短期間特殊ノ事項ヲ授クル爲隨時講習ヲ爲スコトヲ得
實要第五 (教科課程)

教授時數

實規四條 實要第六

實業補習學校 第三章 編制及教科

教授綱要

實業第七

- ◎實業補習學校授業日等ニ關スル件 (昭二・縣牒學八四二二號)
- 各實業補習學校ノ授業日並教授時刻ニ關シテハ學則ニ規定セラレアル向キモアレト尙夫々豫メ之ヲ知悉シ置クヲ必要トスルニ付爾今左記ニ依リ必ス報告相成度
- 一 一ケ年ヲ通シテ決定セルモノニ付毎學年ノ初(四月十五日迄)
 - 二 毎月決定ノモノニ付キテハ每前月二十五日迄
 - 三 其ノ他或期間中決定セルモノニ付キテハ其ノ實施五日前
 - 四 右變更ノ場合ニハ其ノ都度

教科用圖書

縣規五條 實業補習學校ノ教科書ヲ選定セムカ爲認可ヲ申請スル場合ハ左式ニ依ル圖書ヲ添付スヘシ

教科目	圖書名	卷册	發行年月日	定價	著作者氏名	發行所	備考
-----	-----	----	-------	----	-------	-----	----

縣規六條 前條ニ依リ認可ヲ受ケタル教科書ヲ廢止セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ左式ニ依ル圖書ヲ添ヘ知事ニ開申スヘシ

教科目	圖書名	卷册	發行年月日	著作者氏名	發行所	認可年月日
-----	-----	----	-------	-------	-----	-------

第四章 設備

實規一八條 實業補習學校ニハ必要ナル諸室、圖書、器具、機械、標本等ヲ備フヘシ

帳簿

縣規三條 實業補習學校ニハ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

- 一 學籍簿、生徒出席簿、職員出勤簿
 - 二 教授細目、日課表、職員名簿
 - 三 修了者名簿、卒業者名簿、成績考査簿
 - 四 身體檢査簿、校具臺帳、經費ニ關スル簿
 - 五 學校沿革誌、學校日誌、職員履歷書綴
 - 六 學則及學事法令例規程、往復書類綴
- 前項帳簿ノ記載ハ小學校ノ例ニ準シ學籍簿、教授細目、修了者名簿、卒業者名簿、校具臺帳、學校沿革誌ハ永久保存シ其他ハ三ヶ年以上之ヲ保存スヘシ
- 市町村役場ニハ左ノ帳簿ヲ備フヘシ
- 一 適齡簿、就學狀況調
 - 二 就學ニ關スル綴
- 前項帳簿ノ記載ハ大正九年十二月十七日新潟縣訓令第四五號第一號乃至第二號様式ニ準シ適齡簿ハ永久保存シ其他ハ三ヶ年以上之ヲ保存スヘシ

實要第八 (特別教室、實習地、器具、標本、圖書、器械藥品)

第五章 就學

入學資格

實規三條 實業補習學校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ前期ニ在リテハ尋常小學校卒業者又ハ之ニ準スヘキ者トシ後期ニ在リテハ前期ノ課程ヲ卒ヘタル者、高等小學校卒業者又ハ之ニ準スヘキ者トス

就學

實要第二

- 一 市町村長ハ其ノ年四月一日ニ於テ滿十二歳ニ達スル者ヲ調査シ毎年一月末日迄ニ第一號様式ニ依リ實業補習教育適齡簿ヲ調製スヘシ
- 補習教育適齡ノ末尾ニハ第二號様式ノ就學狀況調査ヲ加綴シ毎年十二月末日ニ於ケル就學ヲ記入シ且之ヲ監督官廳ニ報告スヘシ
- (第一號第二號様式略)
- 一 市町村ハ二月末迄ニ新ニ實業補習教育ヲ受クヘキ者ノ就學ニ關シ實業補習學校長及保護者又ハ雇傭者ニ報告スヘシ
- 一 實業補習學校長ハ毎年四月末日迄ニ第三號様式ノ學籍簿ヲ調製スヘシ
- (第三號様式略)
- 一 實業補習學校長ハ在學生徒ノ出缺簿ヲ作り毎學期ノ狀況ヲ統計シ管理者及監督官廳ニ報告スヘシ管理者

- ハ其ノ統計ヲ青年團長處女會長ニ通知スヘシ
- 一 會社、工場、商店其他同業組合等ノ從業者ニシテ學校組織ニアラサル施設ニ依リ實業補習教育ヲ受ケントスル者及實業補習教育ヲ受クルコト能ハサル事情アル者ニ對シテハ每學年ノ開始前其ノ保護者又ハ雇傭者ヨリ之ヲ關係市町村長ニ届出テシムヘシ
- 一 就學出席ニ關シテハ小學校職員、各種團體其ノ他ノ協力ニ依リ常ニ之カ督勵ヲ行フヘシ

第六章 職員

資格

公立私立實業補習學校教員資格ニ關スル規程抄 (明四〇・文令二八號)

- 第二條 一般ノ實業學校ノ教員タルコトヲ得ル資格ヲ有スル者ノ外左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ實業補習學校ノ教員タルコトヲ得
 - 一 實業補習學校教員養成所卒業者
 - 二 小學校本科正教員又ハ小學校專科正教員免許狀ヲ有スル者
 - 三 文部大臣ノ指定シタルモノ
- 第二條ノ二 實業ニ關スル特別ノ智識經驗ヲ有スル者ハ地方長官ノ認可ヲ受ケ實業補習學校教員タルコトヲ得
- 第三條 第二條ノ二ノ認可ヲ受ケントスル者ハ其ノ從事セントスル學校ノ種類程度學科並ニ擔任學科目ヲ記載シタル願書ニ履歷書ヲ添ヘ當該官廳ニ申請スヘシ
- 第四條 特別ノ必要アルトキハ公立實業學校ニ在リテハ地方長官私立實業學校ニ在リテハ設立者ニ於テ第一條乃

至第二條ノ二ノ資格ヲ有セザル者ヲ教員トシテ採用スルコトヲ得

前項ニ依リ採用シタル教員ハ公立實業學校ニ在リテハ教諭及助教諭ト稱スルコトヲ得ス

第四條ノ二 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニアラサレハ公立補習學校ノ教諭ト稱スルコトヲ得ス

一 一般ノ實業學校ノ教員タルコトヲ得ル資格ヲ有スル者

二 修業年限二年ノ實業補習學校教員養成所ヲ卒業シタル者

三 前號以外ノ實業補習學校教員養成所ヲ卒業シタル者ニシテ三年以上助教諭ノ職ニ在リタルモノ

四 小學校本科正教員又ハ小學校専科正教員ノ免許狀ヲ有スルモノニシテ六年以上助教諭ノ職ニ在リタルモノ

實業補習學校以外ノ公立學校ノ教諭又ハ助教諭ノ職ニ在リタル者ハ前項ノ規定ニ拘ラス公立實業補習學校ノ教諭ト稱スルコトヲ得

第五條ノ第三項 實業補習學校ニ於テ第四條第一項ニ依リ採用スル教員數ノ制限ニ關シテハ地方長官ノ定ムル所ニ依ルヘシ

第六條 本令ニ依リ文部大臣ニ提出スヘキ書類ハ地方長官ヲ經由スヘク地方長官ハ其ノ意見ヲ具スヘシ

員數

實規一七條 實業補習學校ニハ學科目、教授時數及學級數ニ應シ相當員數ノ教員ヲ置クヘシ

縣規八條 實業補習學校ニ於テ相當資格ヲ有セザル教員ノ數之ヲ有スル教員ノ二分ノ一ヲ超過スル場合ニハ公立

實業補習學校ニ在リテハ郡市長私立實業補習學校ニ在リテハ設立者ニ於テ新ニ採用セムトスル教員ノ履歷書擔任ノ學科目及詳細ナル事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クベシ

任用、解職、職務、服務

縣規七條 實業補習學校長又ハ教員ノ任用、解職、職務、服務ニ關シテハ別段ノ規定アルモノノ外小學校長又ハ

教員ノ例ニ依ル

◎職員任用内申ノ場合名稱記載方 (大一二・縣學九六二六)

從來中等學校及實業補習學校ニ於ケル無資格者或ハ有資格者ト雖モ一時任用セントスル場合授業囑託トシテ任用内申相成居候處爾今左記名稱ヲ用キ内申相成度通牒候也

記

中等學校ニ於テハ教諭心得 (專任ノモノニ限ル)

實業補習學校ニ於テハ助教諭心得 (同)

◎教員進退ニ關スル意見上申書式並注意事項 (大一五・縣注)

實業補習學校教員ノ場合

1 書式

小學校教員ノ場合ニ準スルコト 但シ現俸ノ欄ニハ小學校、補習學校ノ給與俸給額ヲ記シ任用職名ノ下ニ擔任學科欄ヲ設ケ受持學科目ヲ記載スヘシ

2 注意事項

イ 學校名ハ認可ヲ得タル名稱ヲ正確ニ記載シ略稱等ヲ用ヒサルコト

ロ 職名俸給資格ハ正シク左記ノ區別ニ依リ専務兼務ノ別ヲ明ニスルコト

A 専務ノ場合

實業補習學校 第六章 職員

二一〇

任用者ノ資格	職名	俸給
高正	何校助教諭又ハ教諭ニ任ス	何級俸給與
專正	●認可教員ハ教諭タリ得ズ	
認可教員		
尋正	何校助教諭心得ヲ命ス	年(月)報酬何圓給與
准教員		
無資格者		
B 兼務ノ場合		
高正	何校助教諭ニ兼任ス	年(月)手當何圓給與
專正		
認可教員		
尋正	何校授業ヲ囑託ス	年(月)報酬何圓給與
准教員		

- ハ 専任ト兼任トハ別紙ニ認ムルコト
 - ニ 大正四年學發第八號實業補習學校代用教員任用ニ關スル件参照ノコト
 - ホ 助教諭ヨリ教諭ニ任用替其ノ他公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程参照ノコト
 - ヘ 手當又ハ報酬ニハ圓未滿ノ端數ヲ給セサルコト
- ◎實業補習學校教員進退ニ關スル件 (昭二・縣注)
- 實業補習學校教員ノ進退ニ關シテハ昨年ノ會議ニ示セル教員進退ニ關スル意見上申書式注意事項ニ依ルヘキハ勿論ナルモ特ニ季節教授ヲ爲ス補習學校ニ於ケル有資格専任教員ニ在リテハ左記留意セラレタシ

- 1 教授季節以外ト雖家庭指導部落指導等ニ勤務セシメテ通年所定ノ月俸ヲ給セシムヘキコト
 - 2 然ラサレハ期間中ノ俸給總額ヲ十二ヶ月ニ平分シテ當分給ト爲スヘキコト
 - 3 以上ノ外ハ凡テ其ノ都度進退ノ上申ヲ爲スヘキコト
- ◎實業補習學校教員進退ニ關スル件 (昭五・縣注)
- 1 専任者ト兼任者トハ必ス別紙ニ認ムルコト
 - 2 専任者任用ニハ必ス履歷書、身體検査書ヲ添付スルコト
但シ現ニ青年訓練所ノ指導員ノ職ニ在ルモノニシテ補習學校ノ助教諭心得トナスモノニツキテハ身體検査書ハ之ヲ省略ス
 - 3 任用者人物ニツキテハ勿論、學歷等ニツキテモ十分考慮スヘキコト
 - 4 退職ニツキテハ有資格者ニ在リテハ公立學校職員分限令第三條第一號第三號ニ依ルモノ、外ハ必ズ退職願ヲ添付シ上申スヘク他ノ教職員ニ在リテモナルヘク同様ノ手續ニ及ハレタキコト
 - 5 陸海軍現役ニ服スル者ハ當然休職トナルモノニ付休職願出ニ及ハス本人ヨリノ知事宛届出ニ對シ副申スヘキコト
 - 6 進退ニ關スル書式ハ小學校教員ノ進退ニ關スル意見上申書式ニ準スヘキコト
 - 7 進退ニ關スル上申ハ其ノ期日ヲ遅レサル様ニシ特別ノ事情ニ依リ遅延セルモノニ對シテハ其ノ事由ヲ明記スヘキコト
 - 8 公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程第四條ノ二ニ該當スル者アル時ハ本人ノ履歷書並成績ニ關スル調書ヲ添ヘ上申スヘキコト

◎實業補習學校専任教員ノ進退ニ關スル件 (昭七・縣注)

實業補習學校 第六章 職員

二一一

- 1 補習學校ニ於テ専任ノ教諭及助教諭ノ任用セラル、ハ通年制ノ學校ニシテ尙俸給ハ四拾圓以上ナルコト
 - 2 季節制補習學校ノ専任教員(教授期間ノミノ豫算トナルモノヲ含ム)ハ期間終了ト共ニ解職ノ手續ヲ探ルコト
 - 3 専任教員廢止ノ場合ハ休職ヲ命スルノ外途ナキコト
- ◎教員任用ニ關スル件 (昭六・縣注)
- 補習學校専任教員ヲシテ小學校ノ學級ヲ擔任セシメサルコト

兼務

實要第九

- 一 學校ニ附設スル實業補習學校ノ學校長ハ當該學校長ヲシテ之ヲ兼務セシメ普通科擔任教員ハ當該學校教員ヲシテ之ヲ兼テシムルコトヲ得
- 一 小學校教員ニシテ實業補習學校教員ヲ兼務スルモノ毎週教授日時數ハ二日四時以内ヲ本則トスヘシ
- 一 實業科擔任教員ハ成ルヘク専任トシ教授時間外ニ於テモ生徒ノ實習指導ニ任セシムヘシ

俸給旅費

◎公立學校職員俸給令 (明三六・勅令六六號)

◎公立學校職員俸給旅費其他諸給與ニ關スル規則 (明三六・縣令四五號)

- 第十五條 實業補習學校准教員ノ月俸額及其ノ支給方法ハ總テ公立小學校准教員ノ例ニ依ル
- 第二十三條 實業補習學校教員ノ旅費額及其ノ支給方法ハ總テ公立小學校教員ノ例ニ依ル但シ學校長、教諭、

年功加俸

助教諭ハ小學校正教員ノ額トシ其ノ他ノ教員ハ小學校准教員ノ額トス

◎公立學校職員年功加俸支給規程 (大一一〇・縣令一九)

- 第一條 公立學校年功加俸令(以下單ニ加俸令ト稱ス)ニ依ル年功加俸ハ本規程ニ依リ支給ス
- 第二條 公立學校職員中加俸令ニ依リ年功加俸ヲ受クヘキ者又ハ年功加俸ヲ受クル者ニシテ其ノ俸給額又ハ勤続年數ニ異動アリタル爲加俸額ノ増減ヲ要スヘキ者アルトキハ第一號様式ニ依リ當該學校長ヨリ知事ニ具申スヘシ
- 第三條 年功加俸ハ發令ノ翌日ヨリ之ヲ支給ス
- 第四條 年功加俸ヲ受クル者ニシテ懲戒處分ヲ受ケタルトキハ加俸ノ支給ハ左ノ各號ニ依ル
 - 一 譴責ノ場合ハ譴責ヲ受ケタル日ヨリ三ヶ月以内其ノ加俸三分一ヲ給ス
 - 但シ情狀ニヨリ減給セサルコトアルヘシ
 - 二 減俸ノ場合ハ其ノ減俸期間中加俸ノ支給ヲ停止ス
- 第五條 年功加俸ヲ受クル者ニシテ休職トナリタルトキハ休職期間中其ノ加俸三分一ヲ給ス 但シ俸給ヲ受ケサル場合ニ在リテハ加俸ハ之ヲ支給セス
- 第六條 年功加俸ヲ受クル者轉任、休職(休職給ヲ受ケサル場合)免職トナリタルトキハ發令ノ當日迄之ヲ支給ス
- 第七條 年功加俸ヲ受クル者退職又ハ死亡シタルトキハ當月分ノ加俸全額ヲ支給ス
- 第八條 年功加俸ヲ受クル者ニシテ病氣又ハ私事ノ故障ニ依リ執務セサル爲俸給ヲ減セラレタルトキハ加俸ハ之ヲ半額ニ減ス

實業補習學校 第六章 職員

二一四

第八條 年功加俸ハ年額ヲ十二分シテ毎月俸給支給日ニ於テ之ヲ支給ス 但シ發令ノ月ニアリテハ其ノ月分ニ限り日割ヲ以テ支給ス

轉任、休職(俸給ヲ受ケサル場合)退職、死亡其ノ他ノ事由ニヨリ其ノ職ヲ去リタルトキ又ハ支給定日後就任、増額等ノ場合ハ前項ノ支給日ニ拘ラス之ヲ支給又ハ追給ス
(第一號様式略)

◎公立學校職員年功加俸支給手續 (昭九・縣訓一)

第一條 公立學校長ハ前年度末ニ於ケル年功加俸支給ノ狀況ヲ第一號様式ニ依リ毎年五月末日限知事ニ報告スヘシ

第二條 公立學校長ハ毎年六月一日ニ於ケル五年以上勤続ノ所屬職員數ヲ左記各項ニ依リ調査シ第二號様式ニ依リ六月末日限知事ニ報告スヘシ

一 職員ノ範圍及勤続年數ノ計算ニ關シテハ年功加俸令第一條及第七條ノ規程ニ依ル
二 公立學校職員俸給令第九條ニ依リ俸給ヲ受クルモノハ其ノ俸給多キ方ノ職員ノ欄ニ掲ケ俸給ハ其ノ合算額ニ依ル

第三條 公立學校長ハ第三號様式ニ依リ公立學校職員年功加俸臺帳ヲ調製スヘシ年功加俸ヲ受クル者縣内ニ於ケル加俸令第一條ノ他校職員ニ轉シタル場合舊學校長ハ遲滞ナク加俸臺帳ノ謄本ヲ新學校長ニ送付スヘシ

第四條 公立學校職員ニシテ年功加俸ヲ受クル者轉任、休職、退職、死亡等ノ異動ヲ生シタルトキハ當該學校長ヨリ第四號様式ニ依リ遲滞ナク知事ニ報告スヘシ 但シ縣外ニ轉任シタル者ノ報告ニハ當該加俸臺帳ノ謄本ヲ添附スヘシ

(第一、二、三、四號各様式略)

第七章 費用負擔及授業料

◎新潟縣實業補習教育費補助規定 (大一四・縣令二六)

第一條 實業補習教育獎勵ノ爲毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ公立私立實業補習學校ニ對シ補助金ヲ交付ス

二 補助金ハ左記ニ依リ之ヲ定ム

一 當該年度ニ新ニ置キ若ハ増員シタル専任ノ學校長、教諭又ハ助教諭ノ其ノ年度俸給額ニ對シ其ノ三分ノ二以内

二 前號ニ依リ剩餘ヲ生シタルトキハ前號以外ノ専任ノ學校長、教諭又ハ助教諭ノ其ノ年度俸給額ニ對シ其ノ三分ノ二以内

前項ニ依リ剩餘ヲ生シタルトキハ前項各號以外ノ學校長及教員ノ其年度俸給手當額ニ對シ相當ノ補助ヲナスコトアルヘシ

三 補助ハ該年度ノ精算額ニ對シ之ヲ交付ス 但シ第二條第一號ノ補助金ハ十月、四月ノ兩度ニ交付ス

四 實業補習學校ニシテ補助金ヲ受ケントスルトキハ管理者又ハ設立者ハ毎年五月三十一日限り左ノ書類ヲ具シ知事ニ申請スヘシ

一 學校名

二 學 則

實業補習學校 第七章 費用負擔及授業料

二一五

實業補習學校 第七章 費用負擔及授業料

- 三 當該年度歳入歳出豫算書及當該學校經費豫算書
- 四 教員表(左記様式ニ依ル)

第二條第一號(第二號)該當教員表

學 校 名	任 用 年 月 日	退 職 又 ハ 轉 任 年 月 日		俸 給 月 額	職	氏 名

備考

- 一 第一、第二、第三各號別ニ製表スルコト
- 二 中途増俸ハ俸給月額欄内右側ニ俸給額發令年月日ヲ朱書スルコト
- 五 管理者又ハ設立者ハ第二條第一號ニ該當スルモノニ就テハ毎年十月十五日及四月十五日迄ニ其ノ他ノモノニ就テハ毎年四月十五日限り教員俸給精算書ヲ添へ補助金ヲ請求スヘシ

補助金ノ使途

實要第一〇ノ二

- 一 實業補習學校ノ補助金ハ主トシテ教員ノ俸給及手當ニ充テ其ノ優遇ヲ圖ルヘシ

授業料

- 一 授業料ハ徵集セサルヲ本則トス

第八章 體育衛生

體育衛生

實規九條 實業補習學校ニ於テハ常ニ生徒ノ體育及衛生ニ留意スルヲ要ス

身體検査

實要第七ノ四 毎年春季一回生徒ノ身體検査ヲ行ヒ其ノ體育向上ニ資スヘシ

◎學生生徒兒童身體検査規程(大九・文令一六號)

第九章 統計、報告

學事統計

報告規程ハ第一編第十一章統計報告ノ部參照

◎學事概況

- 期 限 四月十五日
- 報 告 者 學校長
- 報 告 ス ヘ キ 條 項
 - 一 學校設備ノ狀況
 - 一 生徒訓育狀況

實業補習學校

第八章

體育衛生

第九章

統計、報告

實業補習學校 第九章 統計、報告

- 一 生徒學業ノ進否ニ關スル狀況
- 一 生徒教練ニ關スル狀況(男子ノ學校ニ限ル)
- 一 生徒修學旅行ニ關スル狀況及第二部ニ關スル狀況
- 一 入學志願者ニ關スル狀況
- 一 卒業者就職ノ狀況
- 一 生徒研究、實驗實習及之ニ關スル設備ノ狀況
- 一 學校ト實業界トノ關係
- 一 學校醫執務ノ狀況並學校看護婦ノ設置及執務ノ狀況
- 一 設備ノ衛生ニ關スル狀況及教授衛生ニ關スル狀況
- 一 體育運動ニ關スル狀況及學校職員生徒ノ健康狀態ニ關スル狀況
- 一 疾病ノ豫防及治療並身體虛弱者又ハ精神薄弱者ノ監督養護ニ關スル狀況
- 一 學校園學校林等ノ施設ニ關スル狀況及生徒樹栽ニ關スル狀況
- 一 教科用圖書ノ適否、需要供給ノ關係、其他教科用圖書ニ係ル狀況
- 一 教育品展覽會開催回数、開會日數觀覽人ノ狀況陳列品ノ種類及開設ノ效果
- 一 其ノ他學事施設上將來須要ト認ムヘキ事項ニ關スル意見及計畫等

◎學校表

期 限 四月十五日
報告者 學校長

教員勤務狀況

◎實業補習學校教員勤務狀況報告ニ關スル件 (大一五・縣牒學九六一二)
實業補習學校教員ノ勤務狀況ハ爾今左記様式ニ依リ毎年九月、三月兩度ニ取纏メ其ノ翌月十日限り報告相成度依命此段及通牒候也
追テ右報告ハ學校管理者ヲ經由セラレ度

(様式)

何年度自 何年度至 月 月 教員勤務狀況報告
右本校教員勤務狀況別紙ノ通及報告候也
年 月 日

新潟縣知事 氏 名殿

何郡(市)何町村何補習學校長 氏

名印

(別表)

何郡(市)何町村何補習學校
專(兼)任教員名稱

受持學年

氏

名

月	月次		指導日數	小學校教授日數	農中等學校會勤務日數	其		病氣其ノ他	備考
	日數	總時數				出張	引病		

實業補習學校 第九章 統計、報告

實業補習學校 第十章 其他

二二二

第四條 女生徒ヲシテ宿泊旅行ヲ爲サシムル場合ハ引卒業教員中ニ必ス女教員ヲ加フヘシ

第五條 修學旅行中事故發生シタルトキ若ハ特別ノ事情ニ依リ日程宿泊地等變更シタルトキハ遲滯ナク知事
(市ニ在リテハ市長、支廳管轄區域ニ在リテハ支廳長)ニ報告スヘシ

學校ト外部トノ連絡

實要第一

- 一 實業補習學校ニ商議員若干名ヲ置キ補習教育ニ關シ管理者又ハ學校長ヲ補助シ且其ノ諮問ニ應セシムヘシ
- 一 商議員ハ學校職員各種團體代表者篤志者並當業者中ヨリ管理者之ヲ囑託スヘシ
- 一 生徒ノ就學出席ノ督勵ハ商議員、青年團體女團體等ト協同シテ之ヲナスヘシ
- 一 職工徒弟使用人等ノ補習學校就學獎勵及卒業生ノ就職並ニ優遇ニ關シテハ商業會議所、銀行、會社、工場又ハ同業組合等ト連絡ヲ保ツヘシ
- 一 農業補習學校ニ在リテハ教授上必要ナル諸調査質疑講習、講話、器具、標本ノ利用並實地見學等ニ關シ農事試驗場、農會、産業組合、中等學校等ト連絡ヲ保ツヘシ

第三編 青年訓練所

第一章 總則

青年訓練所ノ目的

青令一條 青年訓練所ハ青年ノ心身ノ鍛鍊シテ國民タルノ資質ヲ向上セシムルヲ以テ目的トス

註 本縣青年訓練所規則準則ハ體メテ第八章ニ掲載セリ各章トモ同章ヲ參照サレタシ

第二章 設置

設置廢止

青令三、四、九條 青規六、一〇、一二、一三、一四條 青細二、三條

青細七條 青年訓練所規則ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ

- 一 目的、名稱及訓練期間ニ關スル事項
- 二 訓練ノ項目、課程、時數、訓練季節及授業日時ニ關スル事項
- 三 入所、退所、修了ニ關スル事項
- 四 費用ニ關スル事項
- 五 其ノ他必要ナル事項

青年訓練所 第一章 總則 第二章 設置

二二三

◎青年訓練所規則 (六一五・文發普一六九號)

第三章 設備及費用

設備

青規一七、一八條

青細一六條 青年訓練所ニ備フヘキ表簿ノ種類左ノ如シ

- 一 青年訓練所ニ關スル法令綴
- 二 當該青年訓練所規則
- 三 青年訓練名簿
- 四 出席簿
- 五 訓練項目實施細目
- 六 訓練要錄
- 七 職員履歷書及出勤簿
- 八 日誌
- 九 備品臺帳
- 一〇 公文書類
- 一一 經費豫算表

前項第一號乃至第三號及職員履歷書ハ永久ニ之ヲ保存シ其ノ他ハ四年以上之ヲ保存スヘシ

費用

青令七 青則一九條

◎青年訓練所費ニ關スル件 (六一五・縣牒地四七七三)

青年訓練所費ノ支出科目ニ付テハ曩ニ通牒致置候處近時市町村費ヨリ補助又ハ獎勵費等ノ名稱ノ下ニ被服費ヲ支給スル向有之候モ右ハ訓練ヲ受クル者ニ對スル個人的補助ト被認穩當ナラスト存候指定寄附等ニ財源ヲ需ムル場合ノ外個人的補助ハ之ヲ公費ヨリ支出セザル様相當措置相成度此段及通牒候也

第四章 訓練項目及時數

訓練期間

青規一條 青年訓練所ノ訓練期間ハ四年トス

青規三條 青年訓練所ノ入所期ハ毎年一月トス但シ特別ノ事情アル者ハ中途之ヲ入所セシムルコトヲ得

青規一條 青年訓練所ノ訓練ハ土地ノ情況ニ應シ適當ナル季節ヲ選ヒテ之ヲ行フコトヲ得

●青則八、九、一〇條

訓練項目並免除

青令五條 青規四條

●青則四條

青規七條 現ニ學校ニ在學スル者若ハ相當ノ學力アリト認メラレタル者又ハ特別ノ事由アル者ニ對シテハ一部ノ

青年訓練所 第四章 訓練項目及時數

青年訓練所 第四章 訓練項目及時數

訓練項目ヲ課セサルコトヲ得

●青則七條

青則四條 規程第七條ニ依リ一部ノ訓練項目ヲ課セザルコトヲ得ル場合左ノ如シ

一 現ニ學校ニ在學シ當該學校ニ於テ青年訓練所ノ訓練項目ノ課程ト同等以上ト認メラレタル課程ヲ修ムル者ニ對シテハ當該項目ハ之ヲ免除ス

二 前號ノ場合ノ外ハ次ノ例ニ依ルヘシ

(一) 修身及公民科ハ一般ニ之ヲ課スヘシ 但シ相當ノ素養アル者ニ對シテハ課程ニ適當ナル斟酌ヲ加フヘシ

(二) 教練ハ一般ニ之ヲ課スベシ 但シ身體ノ情況ニ依リ之ヲ課セサルコトヲ得

(三) 青年訓練所外ニ於テ正課トシテ教練ノ授業ヲ受ケタルモノニ對シテハ主事ハ指導員ノ意見ヲ聽キ左ノ範圍内ノ教練時數ヲ減スルコトヲ得

甲 現役將校ノ配屬スル學校ニ付テハ

(1) 尋常小學校卒業程度ヲ入學資格トスル學校ニ在リテハ第二學年高等小學校第一學年修了程度ヲ入學資格トスル學校ニ在リテハ第一學年程度迄ノ教練ヲ修得シタル者ニ對シテハ百時

(2) 尋常小學校卒業程度ヲ入學資格トスル學校ニ在リテハ第三學年、高等小學校第二學年修了程度迄ノ教練ヲ修得シタル者ニ對シテハ二百時

(3) 尋常小學校卒業程度ヲ入學資格トスル學校ニ在リテハ第四學年、高等小學校第二學年修了程度ヲ入學資格トスル學校ニ在リテハ第二學年程度迄ノ教練ヲ修得シタル者ニ對シテハ三百時

(4) 尋常小學校卒業程度ヲ入學資格トスル學校ニ在リテハ第五學年、高等小學校第二學年修了程度ヲ入學資格トスル學校ニ在リテハ第五學年、高等小學校第二學年修了程度ヲ

入學資格トスル學校ニ在リテハ第三學年程度迄ノ教練ヲ修得シタルモ教練ノ檢定ニ合格セサル者ニ對シテハ三百時

(5) 尋常小學校卒業程度ヲ入學資格トスル學校ニ在リテハ第五學年、高等小學校第二學年修了程度ヲ入學資格トスル學校ニ在リテハ第三學年程度迄ノ教練ヲ修得シタル者ニ對シテハ全時數

乙 商船學校ハ現役將校ヲ配屬シタル學校ト看做ス

丙 高等小學校卒業業者、實業補習學校前期修了者其他ノ現役將校ヲ配屬セサル學校第二學年程度修了者ニ對シテハ百時

(6) 知事ニ於テ青年訓練所ノ教練ノ課程ト同等以上ト認メタル教練ノ課程ヲ修メタル者引續キ青年訓練所ニ入所シタル場合ハ當該青年訓練所ニ於テハ其ノ入所以後ノ年次ニ配當シタル教練時數ヲ授クヘシ

(7) 教練時數ヲ減少シタル場合ハ成ルヘク各年次ニ平均シテ持續的ニ教練ノ授業ヲ受ケシムヘシ

(8) 普通學科及職業科ハ次ノ例ニ依ルヘシ
甲 實業補習學校後期以上ノ修了者尋常小學校卒業程度ヲ入學資格トシテ實業教育ヲ施ス學校ノ第三學年修了程度以上ノ學力アル者及高等小學校第一學年修了程度ヲ入學資格トスル學校ノ第二學年修了程度以上ノ學力アル者ニ對シテハ普通學科及職業科ハ之ヲ課セザルコトヲ得

乙 前記(6)ノ(甲)外ノ中等學校第三學年修了程度以上ノ學力アル者ニ對シテハ普通學科ハ之ヲ課セサルコトヲ得

訓練時數

青規五條 青年訓練所ノ訓練時數ハ四年ヲ通シテ修身及公民科百時、教練四百時、普通學科二百時、職業科百時

青年訓練所 第四章 訓練項目及時數

ヲ下ラサルモノトス

青規一〇條 青年訓練所ノ訓練時數ハ總時數ヲ四分シテ之ヲ各年次ニ平均シ各週持續的ニ行フヲ以テ常例トス
但シ土地ノ狀況ニ依リ適當ナル季節ヲ選ビテ之ヲ行フコトヲ得

第五章 入退所並修了

入 所

青令二條 青年訓練所ニ於テ訓練ヲ受クルコトヲ得ル者ハ概ネ十六歳ヨリ二十歳迄ノ男子トス

青規二條 青年訓練所ニ入所スルコトヲ得ル者ハ前年十一月三十日ニ於テ十六歳以上十七歳未滿ノ者トス 但シ
特別ノ事情アル者ハ十七歳以上ニシテ入所スルコトヲ得

●青則一一條

◎兵役法施行令第三十一條第三項ノ規定ニ依ル認定 (昭九・陸文告九)
入所年齢 尋常小學校卒業程度ヲ入學資格トス (十四歳)

(第二條但書ト同意)

青規一條 青年訓練所規程(以下單ニ規程ト稱ス)第二條但書及第三條但書ニ依リ入所シタル者ノ訓練修了期ハ正
規ニ入所シタル者ト同一トス

規程第二條但書及第三條但書ニ依リ入所セシムヘキ者ハ疾病、住居移轉、學校ノ半途退學又ハ卒業其他已ム
ヲ得サル事情アル者ニ限ル

青規九條 公立青年訓練所ハ當該市町村、市町村學校組合又ハ町村學校組合ノ區域内ニ居住スル者ヲ入所セシム

ルヲ常例トス

退 所

青規一五條 中途退所シタルモノニシテ其ノ受ケタル訓練ニ關シ證明ヲ申出テタル時ハ當該訓練所ニ於テ關係事
項ヲ青年訓練手帳ノ關係欄ニ記入捺印シテ之ヲ證明スルト同時ニ青年訓練名簿ニ其ノ旨記載スヘシ

訓練手帳

青規一九條 青年訓練所ハ訓練ヲ受クル者ヲシテ青年訓練手帳ヲ所持セシムヘシ

青年訓練手帳ノ様式ハ別ニ之ヲ定ム

◎青年訓練手帳様式 (大一五文告二六五)

◎青年訓練手帳ニ關スル件 (昭三・縣隊社二六九一)

左記事項明記ノコト

一 學歷欄ニハ免除時數ニ關係アル高等小學校並實業補習學校修了學年

一 出席時數欄中免除時數

一 備考欄ニ免除時數アル場合其ノ理由

◎訓練手帳ニ關シ左記注意スルコト (昭四・縣注一三)

(一) 文字ハ明確ニ墨又ハ「インキ」ニテ書クコト

(二) 數字ハ正確ニ記入シ訂正等ノ場合ハ必ス主任者ニ於テ捺印シ置クコト

(三) 免除時數アルモノハ之ヲ記入シ且ツ其ノ學歷ヲ明記スルコト

修 了

青年訓練所 第五章 入退所並修了

青年訓練所 第五章 入退所並修了

青規二〇條 青年訓練所ハ青年訓練ノ課程ヲ修了シタル者ニ修了證ヲ授與スヘシ
但シ訓練ヲ受クルコト概ネ四年ニシテ第五條ニ定ムル時數ノ訓練ヲ受ケタ後入營スル者ニ對シテハ修了證ヲ授與スヘシ

青規一三條 青年訓練所主事ハ訓練所ノ課程ヲ修了シタル者ニ第一號様式ノ(準則ノ部ニアリ)修了證ヲ授與スヘシ
青年訓練所ニ充テタル實業補習學校長ハ其課程ヲ修了シタル者ニ第二號様式ノ證明書ヲ授與スヘシ 但シ本證明書ハ便宜當該學校卒業證書又ハ修了證書ノ裏面ニ記入スルコトヲ得
第二號様式

第何號 證明書

校印

氏

名

生年月日

右者本校ニ於テ青年訓練所ノ課程ト同等以上ノ課程ヲ修了シタルコトヲ證ス
年 月 日

何々實業補習學校長 氏

名印

青規一四條 前條ノ修了認定ニ關シテハ所定時數ノ訓練ヲ受ケタルコトヲ標準トスヘシ
疾病其ノ他特別ノ事情ニ依リ所定時數ノ訓練ヲ受クルコトヲ能ハサル者ニ對シテハ適當ノ時期ニ於テ適宜其ノ時數ヲ補充スルノ途ヲ講スヘシ

第六章 職員

職員

青令六條 青年訓練所ニ主事及指導員ヲ置ク

青規一五條 青年訓練所ノ主事ハ所務ヲ掌理シ指導員ハ主事ノ指揮ヲ受ケ訓練ヲ擔當ス

青規一六條 公立青年訓練所ノ主事ハ實業補習學校長又ハ小學校長ニ、指導員ハ實業補習學校又ハ小學校ノ教員、在郷軍人其ノ他適當ト認メタル者ニ地方長官之ヲ囑託ス

公立青年訓練所ノ主事及指導員ニハ手當ヲ給スルコトヲ得

私立青年訓練所ノ主事及指導員ハ設立者ニ於テ地方長官ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ

青規一八條 青年訓練所主事及指導員ノ服務ニ關シテハ縣立學校職員ノ例ニ依ル

青規一九條ノ二 主事又ハ指導員ニシテ職務ノ爲傷損ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル者ニハ相當ノ療治料ヲ給スルコトヲ得

青規一九條ノ三 青年訓練所主事及指導員ノ旅費ハ小學校本科正教員ニ準シ之ヲ給スヘシ

◎青年訓練所職員任用ニ關スル件 (昭三・縣際社一〇一五)

一 任用上申ニ關スル場合

主事ハ管理者ヨリ指導員ハ主事ヨリ社親展ヲ以テ學務部長宛上申スルモノトス

様式左ノ如シ

發令月日	任用手當額	任用職名	擔當科目	現	職	氏	名
------	-------	------	------	---	---	---	---

添屬スヘキ書類左ノ如シ

- 一 主事及指導員手當額並現在支出額
- 一 在郷軍人其ノ他學校職員ニ非サル者ヲ任用セントスル場合ハ必ス本人自筆ノ履歷書
- 一 小學校、補習學校以外ノ官廳ニ奉職中ノ者ヲ囑託セムトスル場合ハ其ノ官廳ノ應諾書
- 二 増俸上申ニ關スル場合
- 増俸ノ場合ハ様式左ノ如シ

發令月日	増俸見込額	現俸額	現俸支給年月日	青年訓練所名	職名	氏名

減俸セムトスル場合ハ其ノ理由ト本人ノ承諾書ヲ添附スルコト

主事及指導員手當額並現在支出額ヲ添附ノコト

増俸上申ト任用上申トハ別紙ニ記入ノコト

三 解囑ニ關スル場合

市町村立小學校並公立學校職員ニシテ青年訓練所主事並指導員タル者休退職又ハ轉任シタルトキハ辭令ヲ

用ヒスシテ解囑ト看做スコトニ相成タルニ付右ノ場合ハ遲滯無ク主事ハ管理者ヨリ指導員ハ主事ヨリ開申スルコト

(昭和二年四月八日社第一・二五一號參照)

解囑内申ノ様式左ノ如シ

發令月日	擔當科目	青年訓練所名	職名	氏名

本人ノ都合又ハ病氣ニ依ルモノハ解囑願ヲ添附スルコト

◎中等學校配屬將校ノ教練指導ハ可成數ケ町村聯合ノ上一年一回ハ必ス指導ヲ受クル様努ムルコト (昭四・縣注一三)

第七章 調查報告

◎青訓生徒實數及百分比報告

(三月三十一日報告)

青訓一九條 青年訓練所主事ハ毎年三月三十一日現在ニ於テ每年次ノ當該区域内ニ於ケル青年訓練ヲ受クルコトヲ得ヘキ者ト青年訓練所ニ入所シタル者トノ各實數及百分比並青年訓練所ニ入所シタル者ノ總數ニ付出席百分比ヲ管理者ヲ經テ知事ニ報告スヘシ

◎青年訓練所生徒入所出席歩合報告 (昭五・縣課社一三三一)
 (昭六・縣課社四八四)
 毎年五月末日及十月末日限報告ノコト
 青年訓練所生徒入所出席歩合調査表

昭和 年 月末日調		昭和 年 月末日調	
平均入所歩合	入所資格該當者數	平均出席歩合	實施シタル訓練ノ總延時數
在 所 生 徒 數		各人ノ出席シタル總時數ノ累計	
入 所 步 合	九〇%以上	出 席 歩 合	九〇%以上
別 合 歩 所 入	八〇%以上	席 出	八〇%以上
訓 別 合 歩 所 入	七〇%以上	訓 別 合 歩 所 入	七〇%以上
練 所 練 訓 別 合 歩 所 入	六〇%以上	數 所 練 訓 別 合 歩 所 入	六〇%以上
	五〇%以上		五〇%以上
	五〇%未滿		五〇%未滿

備考
 一 入所歩合ハ四月末日及九月末日現在ニ依ルコト
 二 出席歩合ハ前年度三月末日及九月末日現在ニ依ルコト

三 昭和五年度六月末日報告ニ限り前年度三月末日現在出席歩合ハ報告ニ及ハス
 四 私立青年訓練所生徒入所出席歩合ハ本表ニ包含セシムルコト

一 入所歩合算出方法

(一) 毎年四月末日及九月末日現在ノ入所資格該當者數ヲ以テ四月末日及九月末日現在ニ於テ在所スル生徒數ヲ除シテ得タル數ヲ百倍シ小數第參位ヲ四捨五入シテ「パーセント」ヲ以テ年二回四月末日現在入所歩合並九月末日現在入所歩合トヲ表示スルコト 但シ現ニ青年訓練所ニ在所シ出席ノ督勵ヲ受ケタルニモ拘ラズ一箇年以上皆缺席ヲナシ且將來出席ノ見込ナキモノト認メラルベキ事情アルモノハ訓練名簿ヨリ之ヲ除籍スルコト

(二) 入所資格該當者數トハ入所年齢該當者ノ四月末日及九月末日現在總數ヨリ左記各項該當者ヲ控除シタルモノナルコト

イ 現役將校ヲ配屬シテ教練ヲ行ヘル學校ノ卒業生、在學者、青年訓練所規程第八條ノ認定ニヨル學校在學者

ロ 病弱者、不具癡失者ニシテ訓練ニ堪ヘサルモノ

(三) 入所年齢該當者又ハ資格該當者數ハ可及的定數ヲ得ンコトニ努メ帳簿調査ニ加ヘテ各種團體其ノ他ノ應援ニ依リ實地戸別調査ヲ遂ケテ得タルモノナルコト

二 出席歩合算出方法

其ノ青年訓練所ニテ一箇月内ニ實施シタル訓練ノ總時數ニ在籍生徒數ヲ乘シタル時數ヲ以テ各人ノ出席シタル總時數ノ累計ヲ除シテ得タル數ヲ百倍シ小數第三位ヲ四捨五入シテ「パーセント」ヲ以テ各月別ニ算出スルコト

青年訓練所 第七章 調査報告

前項ノ算出方法ニ準シ九月末日及三月末日ニ於テ各期間中總出席歩合ヲ算出スルコト

備考

- 一 出席歩合算出法前項ノ如ク定メラレタルヲ以テ訓練時數ノ減免ヲ受ケタルト否トニ拘ラス其ノ青年訓練所ニテ實施セラレタル總テノ訓練ニ出席セシムル様之ヲ獎勵スルノ必要アリ 但シ一訓練項目ノ全部ヲ免除セラレタルモノ(例實業補習學校後期卒業生ニ對スル普通學科、職業科ノ訓練ヲ全部免除シタル場合)ニツキテハ必スシモ此ノ限ニ在ラス從ツテ或ル月ノ或青年訓練所ノ訓練實施時數ヲ算出スル場合ニハ此レ等免除項目ニ該當スル訓練實施時數ニ免除セラレタル生徒ノ數ヲ乘シタル總時數(例實業補習學校後期卒業生三人アル場合ニハ普通學科及職業學科ニ對スル訓練實施時數ノ合計ヲ三倍シタル時數)ヲ其ノ月内ニ實施シタル訓練ノ總時數ニ生徒數ヲ乘シタル時數ヨリ控除スルコト、而シテ此等ノ若ノ當該項目ニツキテ出席シタル時數ハ全生徒ノ出席時數ヨリ控除スルコト
- 二 修了證ヲ交付スヘキヤ否ヤハ法定ノ標準訓練時數ヨリ各人ノ減免時數並免除項目ノ時數ヲ控除シタル時數ヲ標準トシテ判定スルコト

◎青年訓練所入所狀況及學歷別生徒數調査報告 (昭七・縣歴社三三七)

標記ノ件左記様式ニ依リ當分ノ間青年訓練所實施細則(新潟縣令第三二號大正一五・五・二八)第二十條第一號様式若ハ第二號様式ト併セテ毎年四月末日現在調査ヲ以テ五月十五日限報告ノコト

様式ノ一

青年訓練所入所狀況調査表		(昭和七年四月末日現在)				
種別	年次	入所資格該當者	入所者數	入所率(百分率)	前年度中途退所者數	備考
第一次	第一次					
第二次	第二次					
第三次	第三次					
計	第四次					

青年訓練所入所狀況調査表		(昭和七年四月末日現在)				
種別	年次	入所資格該當者	入所者數	入所率(百分率)	前年度中途退所者數	備考
第一次	第一次					
第二次	第二次					
第三次	第三次					
計	第四次					

備考

- 一 年齢該當者トハ現ニ當該市町村ニ在住スル年齢該當者ノ總數トス
- 一 入所資格該當者トハ年齢該當者數ヨリ左記各項ヲ控除シタルモノトス
 - (イ) 現役將校ヲ配屬シテ教練ヲ行ヘル學校ノ卒業生、在學者、在學者及青年訓練所規程第八條ニ依ル學校在學者
 - (ロ) 現役將校ヲ配屬シテ訓練ニ堪ヘサル者
 - 一 入所者數トハ四月末日現在各年次ノ在所者數トス
 - 一 入所率トハ入所資格該當者ニ對スル入所者ノ歩合トス
 - 一 中途退所者トハ其ノ届出アリタル者ノ外昭和五年四月二十四日發社第九九號青年訓練所入所歩合算出法統一ニ關スル件記ノ一入所歩合算出法一ノ但書ニ依リ訓練名簿ヨリ除籍セラレタル者ヲ含ムモノトス

様式ノ二

學歷別青年訓練所生徒數調

(昭和七年四月末日現在)

學歷別	人員
一 尋常小學校卒業生	
二 尋常小學校未卒業生	
内 課(中途退學者)	
不(不就學者)	
三 高等小學校卒業生	
四 實業補習學校前期終了者	

青年訓練所 第七章 調査報告

訓練日		毎週何日	何々曜日	何日時間	自午前(後)何時	至午前(後)何時	何時間
同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同

第三章 入所退所並修了

第十條 本訓練所ノ入所期ハ毎年一月トス 但シ已ヲ得サル事情アリト認メタル者ハ中途之ヲ入所セシムルコトアルヘシ

第十一條 本訓練所ニ入所スルコトヲ得ル者ハ前年十一月三十日ニ於テ十六歳以上十七歳未満ノ者トス 但シ已ムヲ得サル事情アリト認メタルトキハ十七歳以上ニシテ入所セシムルコトアルヘシ

第十二條 本訓練所ニ入所セムトスル者ハ義務教育終了後ノ學歷ヲ摘記シタル履歷書ヲ添へ願書ヲ本訓練所ニ差出スヘシ

履歷書及願書ノ様式左ノ如シ

入 所 願

私儀貴訓練所ニ入所仕度候間御許可相成度入所ノ上ハ御規則堅ク相守リ申ス可ク候別紙履歷書相添へ此段相願候也

大正 年 月 日

何々青年訓練所主事何之謹殿

氏 名 印

履 歷 書

原籍

現住所

戸主トノ關係

氏 名

生年月日

學歷

一 大正何年何月何日 何小學校卒業

- 一 大正何年何月 何實業補習學校ニ入學
- 一 大正何年何月 何實業補習學校何年修業又ハ卒業
- 一 大正何年何月 何學校ニ入學
- 一 大正何年何月 何學校修業又ハ卒業
- 一 大正何年何月 何講習ヲ受ク
- 一 其 他

第十三條 本訓練所ニ入所シタル者ニハ所定ノ青年訓練手帳ヲ所持セシムヘシ
 第十四條 他ノ青年訓練所ヨリ轉居シタル者ハ本訓練所ニ青年訓練手帳ヲ提示スヘシ
 第十五條 本訓練所ヲ退所セムトスルトキハ其事由ヲ述ヘ且青年訓練手帳ヲ提出シ出席時數其ノ他必要ナル事項ノ記入證明ヲ受クヘシ
 第十六條 訓練ヲ受クル者ニシテ住居、身分等ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ都度届出ツヘシ
 第十七條 所定ノ課程ヲ修了シタル者ニハ左記様式ノ修了證ヲ授與ス

第 號	修 了 證
訓練所印	氏 名
	生年月日

右者本青年訓練所ノ課程ヲ修了シタルコトヲ證ス

年 月 日

新潟縣何々郡何々町何々青年訓練所主事 氏

名 圖

第四章 實用

第十八條 本訓練所ニ於テハ訓練ヲ受クル者ヨリ費用ヲ徵收セス

第四編 恩給

第一章 昭和八年法律第五十號ニ依ル恩給法改正ノ要點抄

一 普通恩給最短期限ノ延長

従前ノ規定デハ普通恩給ノ最短期限ハ教育職員、文官、待遇職員ニ就イテハ十五年デアツダガ、改正法デハ原則トシテ各公務員トモ二年ヲ延長シ教育職員、文官、待遇職員ニ就イテハ十七年ニ改正シタ
但シ改正法施行ノ際従前ノ規定ニ依ル普通恩給最短期限(教育職員ハ十五年)ニ達シ改正法施行後改正法ノ規定ニ依ル普通恩給最短期限(十七年)ニ達セズシテ退職セル者ニ對シテハ其ノ既得權ヲ保護シ之ニ普通恩給ヲ給スルコト、シタノデアアルガ、其ノ受クベキ恩給額ハ退職前ノ俸給年額百五十分ノ五十ヨリ、改正規定ニ依ル普通恩給最短期限ニ達セザル一年毎ニ百五十分ノ一ヲ減ジタル額即チ十五年ノ場合ハ百五十分ノ四十八、十六年ノ場合ハ百五十分ノ四十九ノ額ヲ支給サレルコトニ規定セラレタ(昭和八年法律第五十號附則第十一條)此ノ規定ハ改正法施行ノ際現ニ休職者ニシテ改正法施行後其ノ期間ノ終了ニヨリ、従前ノ規定ニ依ル普通恩給最短期限ニ達スル者ニ之ヲ準用サレル(同上附則第十二條)

二 基礎俸給額ノ變更

従前ノ規定ニ於テハ退職當時ノ月俸年額ヲ指シテキタノデアアルガ(月俸百圓ノモノハ年額千二百圓ノ三分ノ一即チ四百圓從ツテ退職ニ際シテ増俸サレ、バ其ノ俸給額ヲ基礎トシテ恩給額ガ算出サレタ)改正法ハ之ヲ退職前一年間ノ俸給總額ニ改メタノデアアル

併シ此ノ改正ニハ次ノ二ツノ例外ガアル(法第五十九條ノ二第一項)

- (1) 公務ノ爲メ傷病ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ之ガ爲メ退職シ又ハ死亡シタル者ニ付退職又ハ死亡ノ際昇給アリタル時ハ其ノ爲メサレタル昇給ノ中級俸ノ定アル者ニ就イテハ一級、其ノ定ナキ者ニ就イテハ昇給前ノ俸給ノ百分ノ十五ヲ限度トシ、退職一年前ヨリ昇給セラレタルモノトシテ計算サレル(法五九ノ二ノ一)
- (2) 前號規定以外ノ場合ニ於テ退職前一年内ニ昇給アリタルトキハ、其ノ昇給ガ前俸給二年以上据置ノ後爲サレタルモノナルトキニ限り(1)ノ場合ト同様、一級又ハ百分ノ十五ヲ限度トシテ退職一年前ヨリ昇給セラレタルモノトシテ計算サレル

轉官職ニ依ル俸給ノ増額ハ之ヲ昇給ト看做シ右ノ規定ヲ適用サレル(法五九ノ二ノ二)

右ノ例外的規定ニ關シテハ更ニ當分ノ内ニ限り一個ノ特例ガアル。即チ其ノ公務員ガ同一種類ノ公務員トシテ實在職二十年以上勤続シタル者ニシテ特殊ノ事情アル者ニ就イテハ右制限ノ一級ヲ二級トシ又百分ノ十五ヲ百分ノ三十トシテ計算サレル(昭和八年法律第五十號附則第十條)

實在職期間一年未滿ナル場合ニ於ケル俸給年額ハ其ノ俸給額ヲ月數ノ割合ニ依リ一年分ニ換算スル(法五九ノ二第四) 尙退職前ノ俸給月額ト稱スルモノハ退職前ノ俸給年額ノ十二分ノ一ニ相當スル金額ヲ謂フノデア

三 一時恩給及一時扶助料ノ最短期限ノ設定

従前ノ規定ニ於テハ一時恩給及一時扶助料ハ一年以上ノ在職者ニ對シ給セラレタルノデア

四 個人納金ノ新設及増額

従來納金制度ガナカツタ公立ノ小學校、實業補習學校、幼稚園、盲學校、聾啞學校、及小學校ニ類スル各種學校ノ教職員ニ付キ改正規定ニ於テハ昭和九年四月一日ヨリ毎月俸給百分ノ一ノ納金制度ヲ定メタ。又前述外ノ教育職員、

文官、待遇職員ニシテ納金制度アル者ニ就イテハ從來ノ納金額百分ノ一ヲ百分ノ二ニ増加シタ(法第五十九條)併シナガラ此ノ改正規定ハ昭和九年四月一日以後就職シタルモノ又ハ昭和九年四月一日以後俸給ガ昇給増額セラレ且ツノ昇給、増額セラレタル額ガ納付スベキ額ヨリ超過スベキ場合ニ限り其ノ翌月ヨリ納付スルコトニ規定セラレタ。従ツテ實際問題トシテハ現在在職シテキル者ハ俸給ガ昇給シナカツタリ又ハ増額セラレナイ限り納付シナクトモヨイトイフコトニナル

五 恩給法第九十九條ノ廢止

法第九十九條ハ廢止セラレ教育職員ノ在職年ハ文官其ノ他ノ公務員ノ在職年ニ通算セラル、コト、ナツタ法第九十九條廢止ニ伴フ實際上ノ諸問題即チ教育職員ト他ノ公務員トノ在職年ノ通算關係及恩給ノ停止關係等ニ就イテハ法ハ附則第十七條ヨリ第十九條マデヲ設ケテ之ガ取扱方ヲ定メテキルガ其ノ詳細ハ在職年ノ計算、恩給ノ支給停止等ノ章ニ於テ之ヲ述ベル

六 多額所得者ノ恩給支給停止

年額千圓以上ノ受恩給者デ恩給外ノ所得ガ年額五千圓ヲ超ユル場合ハ六千圓ヲ超ヘタ金額ノ二割ニ相當スル金額ノ支給ヲ停止サレルコトニ新ニ規定サレタ。(法五八)併シ恩給ノ支給額ハ年額千圓ヲ下ルコトナク、又其ノ恩給額ノ二割ヲ超ユルコトノナイ様規定サレテキル。尙コノ詳細ハ施行令第二十四條ノ三乃至第二十四條ノ八ノ定ムル所ニ依ル

七 一時恩給受給者再任ノ場合ニ於ケル通算上ノ制限ト返還

一時恩給ヲ受ケタ者ガ再就職シ之ニ普通恩給ヲ給スベキ場合ニ就テハ、従前ノ規定デハ其ノ前後ノ在職年ヲ無條件ニ通算シテキタノデア

換算月數ト退職ノ翌月ヨリ再就職ノ月迄ノ月數トノ差月數ヲ一時恩給算出ノ基礎トナリタル俸給月額ノ二分ノ一ニ乗ジタル金額ノ十五分ノ一ニ相當スル金額ヲ控除シタ金額ヲ以テ、其ノ普通恩給ノ年額トスル様改正シタ。但差月數一月ニ付一時恩給算出ノ基礎ト爲リタル俸給月額ノ二分ノ一ノ割合ヲ以テ計算シタル金額ヲ、一年以内ニ於テ一時ニ又ハ分割シテ返還シタルトキハ此ノ限りニアラズト定メラレタ(法六四ノ二、附一三)

例 在職五年、月俸七十五圓デ退職シ三百七拾五圓ノ一時恩給ヲ支給サレタ者ガ其ノ後六ヶ月ヲ經テ再就職シ、前後在職年ヲ合算シテ普通恩給ヲ給セラレベキ場合ニ於テハ、前在職五年ヲ毎一年二月ニ換算シタル月數十ヶ月ト退職ノ翌月ヨリ再就職ノ月迄ノ月數六ヶ月トノ差月數四ヶ月ヲ前職退職當時ノ月俸額ノ二分ノ一タル三十七圓五十錢ニ乗ジタル額百五拾圓ノ十五分ノ一タル十圓ヲ受クベキ普通恩給額中ヨリ控除シタル額ヲ以テ其ノ恩給額トサレルノデアル。又但書ニ依リ普通恩給額ヲ減額セシメマイトスルニハ差月數四ヶ月ヲ俸給月額ノ二分ノ一タル三十七圓五十錢ニ乗ジタル額百五拾圓ヲ一年以内ニ一時ニ又ハ分割シテ返還スレバヨイノデアル(施行令第三十條ノ二)

八 普通恩給ノ年齢ニ因ル支給停止

従前ハ普通恩給ハ受給者ノ年齢ニ拘ラズ其ノ全額ヲ支給サレテ居タガ、改正法ハ之ヲ受給者ノ年齢三十五歳ニ滿ツルマデハ普通恩給ノ六分ノ一、三十五歳以上四十歳ニ滿ツル月マデハ普通恩給ノ八分ノ一ニ當ル金額ノ支給ヲ停止スルコト、シタ(法五八) 但增加恩給又ハ傷病年金ト併給セラル、場合ハ例外デアル。尙此ノ規定ハ改正法施行前普通恩給ヲ受クルノ權利ヲ生ジタル者及改正法施行ノ際現ニ在職シ改正法施行後退職シテ普通恩給ヲ受クルノ權利ヲ生ズル者ニハ適用サレナイ(附八) 即チ改正法施行後公務員ニ就職シタル者ニ限り其ノ適用ヲ受クルノデアル。尙改正法施行後再就職シ其ノ普通恩給ヲ改定セラル、場合ニハ、改定ニ依ル增加分ニ就イテノミコト停止規定ガ適用サレル

九 失權及失格原因ノ改正

従來ノ規定デハ六年以上ノ懲役禁錮ニ處セラレルト失權、失格スル定デアツタガ改正法デハ二年ヲ超ユル懲役、禁錮ニ依リ失權、失格スルコトニ定メラレタ。又従來ハ在職中ノ職務犯罪ニ起因シ處刑セラレタ場合ノ定ガナカツタガ、在職中ノ職務犯罪(過失犯ヲ除ク)ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル場合ハ失權、失格セシムルコトニ改正シタ(法九、四一) 次ニ遺族タル夫ハ妻ガ事實上他人ト婚姻關係ニ入ツタト認めラル、時ハ(一般的ニ結婚シタト認定セラル、ナラバ) 届出ノ如何ニ拘ラズ恩給審査會ニ諮問ノ上之ヲ失權セシムルコトヲ得ル様規定セラレタ(法、八〇)

一〇 傷病年金ノ新設

公務ノ爲メ永續性ヲ有スル傷病ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ不具癡疾ノ程度ニ至ラザルモ、勅令ノ定ムル程度(後ニ述ベル)ニ達シ之ガ爲メ其ノ職ニ堪ヘズシテ一年内ニ退職シタルトキハ、其ノ傷病程度及傷病原因ニ應ジ傷病年金ヲ給セララル、コトニナツタ(法四六ノ二、六五ノ二、附一、附七)

一一 公務傷病ノ遺族扶助料ノ一時的加給

公務ニ因ル傷病疾病ノ爲メ死亡シタル場合及增加恩給ヲ受クル者ガ死亡シタル場合ニ於テハ、其ノ死亡ノ翌月ヨリ五年間ハ従前ノ規定ニ依ル扶助料ノ年額ニ各十分ノ三ニ相當スル金額ヲ加給セララル、コトニ新ニ定メラレタ(法、一三)

改正法施行迄ニ五ヶ年ヲ經過セザル者ニハ遡テ適用シ改正法施行後ノ殘存期間ダケ加給スルコトニナツタ(附、一四)

一二 受恩給權ノ調査

裁定官廳ハ勅令(施行令第一條乃至第一條ノ四)ノ定ムル所ニ依リ年金タル恩給ヲ受クルノ權利ヲ有スルモノニ付

恩給 第二章 恩給請求手續

其ノ權利ノ權利ノ存否ヲ調査スベキ旨ヲ新ニ定メラレタ

第二章 恩給請求手續

普通恩給(在職滿十七年以上ニ達シ退職セルモノ)(法六二條) 書式

普通恩給請求書

年月日〇〇〇(官職)ヲ退職致候ニ付普通恩給ヲ給與相成度證據書類相添
へ請求候也

退職當時ノ官職名
本籍地
現住所

年月日

新潟縣知事 氏 名殿

氏 名印

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

添付書類

- 一 在職中ノ履歴書
- 二 戸籍抄本

●一度普通恩給ヲ受ケタル者再就職シ其ノ退職後再任改定ヲ請求スル場合ニハ右ノ外ニ受ケタル普通恩給證書ヲモ添付

履歴書

退職當時ノ官職名

氏 名印

年月日生

年	月	日	記	事	官公署名

恩給 第二章 恩給請求手續

右相違ナキコトヲ證明ス

年 月 日

(退職當時ノ所屬廳ノ長)

官 職 氏

名 印

備考

- 一 履歴書ハ二通提出スヘシ
- 一 學歷、位記、勳記、賞與等ノ記載ヲ要セス
- 一 官職任免、轉任、階等、昇級等ハ順ヲ逐ヒ間隙ナキ様ニ詳記スヘシ
- 一 退職ノ事由ヲ明記スヘシ
- 一 退職當時ノ所屬廳ノ長ハ他廳ニ關スル事項ニ付テハ照會ノ上之ヲ詳記スヘシ

一時恩給(在職滿三年以上十七年未滿ニシテ退職セルモノ)(法六七條)

書式

一時恩給請求書

年 月 日〇〇〇(官職)ヲ退職致候ニ付一時恩給ヲ給與相成度證據書類相

添へ請求候也

退職當時ノ官職名

本籍地

現住所

年 月 日

氏

名 印

新潟縣知事 氏 名殿

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

添付書類

一 在職中ノ履歴書二通

扶助料

一 在職滿十七年以上ノ者其ノ在職中ニ死亡シタル時遺族ニ給セラルルモノ(法七三條)

書式

扶助料請求書

公務員又ハ普通恩給權者 氏

名

右者 年 月 日死亡候ニ付扶助料ヲ給與相成度證據書類相添へ請求候

也

本籍地

現住所

年 月 日

恩給 第二章 恩給請求手續

二五八

新潟縣知事 氏	名殿	氏	名印
---------	----	---	----

添付書類

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

- 一 公務員ノ在職中ノ履歷書二通
- 二 請求者ノ戸籍謄本
- 三 公務員ガ前ニ普通恩給證書ヲ受ケタルコトアルトキハ其ノ恩給證書
- 四 公務員ノ死亡ガ公務ニ因ル傷病疾病ニ起因スルトキハ更ニ左記書類添付
 - 一 傷病疾病ガ公務ニ起因シタルコトヲ認ムルニ足ルベキ書類
 - 一 症狀ノ經過ヲ記載シタル書類
 - 一 死亡診斷書又ハ屍體檢案書
- 二 現在普通恩給ヲ受クル者死亡シタル時遺族ニ給セララルモノ(法七三條)

添付書類

- 一 公務員ガ既ニ普通恩給ノ裁定ヲ經タルモノナルトキハ其ノ恩給證書及請求者ノ戸籍謄本、未ダ普通恩給ノ裁定ヲ經ザルトキ又ハ死亡ガ公務ニ因ル傷病疾病ノ場合ハ前添付書類ニ準ズル手續ヲナスコト

一時扶助料

- 一 在職滿三年以上十七年未滿ニシテ在職中死亡シタル時遺族ニ給セララルモノ(法八二條)

書式

一時扶助料請求書

右者 年 月 日	公務員ノ官職名 氏	名
在職中死亡候ニ付恩給法第八十二條ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也	公務員トノ身分關係	
	本籍地	
	現住所	
年 月 日	氏	名印
新潟縣知事 氏	名殿	

添付書類

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

- 一 公務員在職中ノ履歷書二通
- 二 請求者ノ戸籍謄本
- 二 未成年又ハ不具癡疾ニシテ生活資料ヲ得ル途ナク且之ヲ扶養スル者ナキ公務員ノ兄弟姉妹ニ給セララルル一

恩給 第二章 恩給請求手續

二五九

時扶助料(法八一條)

書式

一時扶助料請求書

公務員又ハ普通恩給權者ノ退職當時ノ官職名 氏 名

右者 年 月 日死亡候ニ付恩給法第八十一條ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也

公務員又ハ普通恩給權者トノ身分關係

本籍地

現住所

年 月 日

新潟縣知事 氏 名殿

氏

名印

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ
添付書類

- 一 不具癡疾ヲ證スル診斷書
- 二 生活資料ヲ得ルノ途ナク且之ヲ扶養スル者ナキコトヲ證スル市町村長又ハ之ニ準ズベキ者ノ證

明書

- 三 公務員ガ既ニ普通恩給ノ裁定ヲ經タルトキハ其ノ恩給證書及請求者ノ戶籍謄本
- 四 公務員ガ未ダ普通恩給ノ裁定ヲ經ザルトキハ公務員ノ在職中ノ履歷書(二通)及請求者ノ戶籍謄本

附 新潟縣小學校教員互助會事業費支給 (抄)

治療費補給

(互助會事業費支給規程五、六條)

左記様式ニヨリ郡市支部主事經由ノコト

様式

第 號

年 月 日

市(郡町村)何小學校長 氏

名 圖

新潟縣小學校教員互助會長殿

治療費補給ノ義ニ付内申 市(郡町村)何小學校訓導 氏

名

右ハ何月何日ヨリ疾病ニ罹リ(傷痍ヲ受ケ)治療費ニ窮シ候ニ付事業費支給規程第五條ニ依リ治療費補給ノ義御詮議相成度調書相添此段内申候也

調 書

一 醫師ノ診斷書(別紙ノ通り)

一 發病臥床ノ年月日

附 新潟縣小學校教員互助會事業費支給

附 新潟縣小學校教員互助會事業費支給

- 一 症 狀
- 一 起床見込年月日
- 一 生活ノ状態
- 1 家族ノ數
- 2 資 産
- 3 生活状態

水災(火災、其他)見舞金贈與 (互助會事業費支給規程三、四條)

左記様式ニヨリ郡市支部主事經由ノコト

年 月 日

市(郡町村)何小學校長 氏

名 印

新潟縣小學校教員互助會長殿

水災(火災、其他)見舞金贈與ノ義ニ付内申

市(郡町村)何小學校訓導 氏

名

右ハ何月何日水害(火災其他)ノタメ左記調書ノ通り災害ヲ受ケ候ニ付事業費支給規程第三條ニ依リ見舞金贈與ノ義御詮議相成度調書相添此段内申候也

調 書

- 一 被害年月日
- 一 被害狀況
- 一 被害程度

◎文書進達ニ關スル諸注意 (縣、縣注ヨリ拔萃)

- 一 封筒表記宛名ハ嚴ニ左記ニ依ルコト
 - イ 教員進退ニ關スル文書ハ「新潟縣學務部長殿學親展」トス(但シ本文ハ知事宛名トス)「至急」ノ文字ハ濫用セサルコト
 - ロ 其他ノ一般文書ハ「新潟縣廳御中」トス
- 二 報告期日ヲ嚴守スルコト
- 三 公文書ニハ提出者ノ職名ノ外氏名ヲモ記シ校名職名ニハ郡町村名ヲモ記スルコト尙職印割印ヲ落ササルコト
- 四 申達文書ノ用紙ハ特ニ定メアルモノノ外ハ半紙判トス
- 五 文書二枚以上ニ涉ルモノハ必ス編綴スルコト 但シホツチキスハ用ヒサルコト
- 六 件名異ルモノハ必ス別綴トナスコト
- 七 役場經由ノモノト然ラサルモノトノ區別ヲ誤ラサルコト
- 八 附箋照會ニ對スル回答ニハ必ス附箋ヲ添附スルト共ニ原書類ヲモ取除カス其ノママ提出スルコト
- 九 文書提出後ト雖モ督促ヲ受ケタル時ハ複本ヲ速ニ提出スルコト
- 十 學校番號押捺ヲ忘レサルコト
 - イ 文書ノ左上角ニ押捺スルコト
 - ロ 文書數葉ニ涉ル場合ハ各葉毎ニ押捺スルコト
- 十一 訓導ヨリ提出スル文書ニツキテハ

附 文書進達ニ關スル諸注意

附 進達文書一覽

- イ 校長限リ處理スヘキモノト知事マテ提出スヘキモノトヲ區別スルコト
- ロ 知事マテ提出スルモノハ必ス校長ヲ經由スルコト
- ハ 進退ニ關スル文書ニハ必ス校長ノ意見ヲ添付スルコト
- 十二 市町村役場ヲ經由スル文書ニツキテハ特ニ豫メ市町村當局ト圓滑ナル連絡ヲ計ルコト
- 十三 一般文書ニハ必ス標題件名ヲ記入スルコト
- 十四 照會、回答ニハ必ス其ノ原據タル書類ノ番號、年月日ヲ記入スルコト
- 十五 私信中ニ公文書ヲ同封セサルコト
- 十六 郵税不足トナラサル様計量ノ上、切手貼付提出ノコト

◎進達文書一覽

定期之部

期 限	進 達 文 書	頁	備 考
四、一〇	小學校教員勤務狀況報告	一七三	
同	實業補習學校教員勤務狀況報告	二一九	
四、一五	學事統計報告	一七三	
同	學事概況	一七三	

同	同(實業補習學校)	二一七	
同	小學校表	一七四	
同	小學校教員表	一七四	
同	實業補習學校表	二一八	
同	實業補習學校授業日報告	二〇四	但通年制校(期間制校ハ每前月二十五日限)
四、二〇	事業計畫書提出	一七四	
四、三〇	地域外居住者報告	一〇九	
同	雪中休業ニ關スル届出	三三三	
同	生徒兒童罹病狀況調査	一七六	
同	未入學兒童報告	七二	
五、一〇	小學校概覽	一七八	
同	實業補習學校概覽	二〇一	
五、一五	加俸令第三條第一項該當者調	一三二	但該當者アル場合

附 進達文書一覽

五、一五	加俸令第三條第二項該當者調	一三三	但該當者アル場合
同	青年訓練所入所状況報告及學歷別生徒數調査	二三六	
五、三一	公立學校年功加俸支給狀況調	二二三	
同	青年訓練所生徒入所出席歩合	二三四	
同	青年訓練所名簿報告	二三八	
同	青年訓練所ニ關スル調査表	二四一	
六、一〇	小學校教員俸給ニ關スル調査	一二五	
同	小學校長俸給ニ關スル調査	一二六	
六、一五	外國生徒ニ關スル事項調査	一七八	
六、三〇	學生生徒身體檢查統計表	一五一	
同	公立學校職員年功加俸ニ依ル勤績者調	二二三	
七、三一	學校衛生週間實施狀況報告	一七一	
八、三一	生徒兒童罹病狀況調査	一七六	

九、五	年功加俸請求	一三五	
九、一〇	小學校教員勤務狀況報告	一七三	
九、三〇	學校衛生週間實施狀況報告	一七一	
一〇、一〇	實業補習學校教員勤務狀況報告	二一九	
一〇、一五	尋六以上男女兒童數報告	一七八	
同	小學校卒業(退學)兒童就業狀況報告	一七九	
一〇、三一	青年訓練所生徒入所出席歩合	二三四	
一二、一〇	教具校具ノ改善手入報告	一八二	
一、一〇	小學校教員勤務狀況報告	一七三	
一、三一	生徒兒童罹病狀況報告	一七六	
二、一〇	年度末小學校教員配置ニ關スル報告	一八二	
三、五	年功加俸請求	一三五	
三、一〇	小學校教員勤績年數別人員調	一三九	

三、一〇	小學校教員年功加俸受給者調	一四〇	
三、三一	事業計畫實施狀況報告	一七六	
同	運動競技會兒童參加ニ關スル報告	一九四	
同	卒業兒童報告	七三	
同	青年訓練所生徒實數及百分比	二三三	
每月五日	出席調査表	七〇	
每學期末	出席調査表(實業補習學校)	二〇一	

不定期ノ部

其ノ都度	永年在職教員調報告	一八五	
同	小學校教員加俸受給者異動報告	一三八	
同	加俸令第七條第二項該當者調	一三四	
同	加俸令第七條第四項該當者調	一三四	

同	缺席兒童報告	七一	
同	學齡兒童異動通知	六四	
同	產業期休業日届出	三三	
同	每週教授時數届出	二五	
同	毎日教授終始時刻届出	三一	
同	使用圖書名届出	四一	
同	不使用圖書名届出	四一	
同	唱歌歌詞樂譜使用方認可申請	四三	
同	青年訓練所教練査閱ニ關スル報告	二四〇	査閱後一週間以内
同	教員長期欠勤報告	一〇三	

昭和九年十二月一日印刷
昭和九年十二月六日發行

【非賣品】

新 潟 縣
小 學 校 關 係 法 規 抄

編輯兼
發行者

新潟縣高田市南本町三丁目
高田市南本町尋常小學校

印刷人 田 中 彌 助
長野市岡田町一七六

印刷所 大日本法令出版株式會社
長野市岡田町一七六

